

4-2-4 タクシー

タクシーは、個々の利用者のニーズに応じ機動性の高いドア・ツー・ドアの面的な輸送を担当し、特に公共交通機関の輸送が終了する深夜、早朝の時間帯においては主たる公共交通機関として、地域住民の生活に欠かせない輸送機関となっています。

1日当たりの利用者数は、昭和63年の約30万人をピークに減少しており、平成22年度は約16万人で全公共交通機関の約13%に相当しています。

マイカーの増加や長引く経済不況の波を受け、タクシー需要は減少傾向にあるものの、地下鉄やバスなどを補完する交通機関として、また高齢者や体の不自由な方々の重要な足として、利用者の増加や利便性向上を目指した取り組みが進められています。

これまでも、観光ルート別運賃の設定や福祉タクシー、介護タクシーの導入促進などタクシーサービスの充実・向上の取り組みやタクシーパトロールなどの地域社会への安全・安心への取り組みも進められているほか、新たに北海道観光おもてなしタクシー乗務員認定制度（札幌版）の取り組みが始められており、他の交通機関と連携を図りながら、今後とも利用者ニーズに合ったサービスを提供していくことが必要です。



認定乗務員に与えられるステッカー

資料：(社)北海道観光振興機構「夢大地北海道ガイドタクシー」

図4-14 北海道観光おもてなしタクシー乗務員認定制度（札幌版）



ガイドタクシー乗り場



乗務員の研修風景